

専門教育科目

講義科目

科目名： 英語で語る日本		科目コード	HA81	
科目主査： 日吉 佑太		担当講師： 日吉 佑太	単位	2
			配当年次	1
授業の目的と概要		グループワーク： <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
<p>日本が観光立国を目指し、ポップカルチャーをはじめ、日本文化が世界的に注目されるようになった近年、私たち自身が日本の文化や諸事情についてよく知るとともに、日本文化の中で生きている私たち自身の観点から外国の方に日本文化を発信していくことが重要になります。本科目では、日本の歴史・文化・生活・社会問題などについて書かれた英文を読むことで、自らが日本文化への理解を深めると同時に、英語で伝えるための英語表現を学びます。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：		
履修の前提となる知識 その他特記事項	シラバスを参考にして、授業内で扱うChapterの本文に目を通しておきましょう。テキストには音声ファイルも付属していますので、リーディングだけでなくリスニングの素材としても活用してください。			
テキスト	『英語で語る日本事情2020』江口 裕之 他, ジャパンタイムズ, 2017年			
この科目の到達目標	<p>①日本の社会・文化・慣習に関する基礎的な知識を身につけて、日本と日本人の特徴を理解し、説明できる。</p> <p>②日本の社会・文化・監修に関する英文を理解することができ、基本的な内容を英文で説明できる。</p>			
成績評価の方法	1日目終了後の課題、及び最終試験によって成績評価を行います。			
事後学習	身近な様々な現象について常に感度を高く持ち、完璧でなくても英語で説明する練習をしましょう。また社会における多様な問題について、自分の意見を持つことを意識し、理由も含めてそれを説明できるようにしましょう。			
事後学習の参考文献	<p>『英語でガイド! 世界とくらべてわかる 日本まるごと紹介事典』, 江口 裕之, Jリサーチ出版, 2018年</p> <p>『改訂版 英語で日本紹介ハンドブック』, 松本 美江, アルク, 2014年</p>			
スクーリング受講時に用意するもの				
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 英和辞典（和英・英英も可/オンライン辞典でも可。但し長期的に英語学習をする場合は、紙の辞典推奨。） <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。				